

モルックのルール(ニュースポーツ体験会用)

【用具の説明】



モルック

投げる棒のこと。
下手投げを行うのが基本。



スキットル

木製のピン。12本。
モルックを投げてスキットルを倒す。

【基本ルール】

投てきラインからスキットルをめがけてモルックを投げます。

スキットルを倒した本数によって点数が決まります。

- ・スキットルが複数本倒れた場合、倒れた本数が点数
- ・スキットルが1本だけ倒れた場合、スキットルに書かれた数字が点数

スキットルは倒された位置で立て直し、数字を前に向ける。

スキットルが最初の配置ラインより手前に転がった場合、配置ラインに対して垂直に戻し、ライン上に置く。



【コート】

- ・3.0(横)×6.0(縦)mのコートで行います。
- ・スキットルから 2.5m手前の場所に投てきエリアを作成します。(小学生以下は 1.5mの場所)

【競技方法】

各チーム交互にモルックを投げます。

- ・30点ゲーム(ちょうど30点にしたチームの勝利)
- ・30点を超えた場合、そのチームは15点から再スタート
- ・1試合10分の時間制限を設け、試合終了の際は合図を鳴らす。
合図が鳴ったら、そのターンで試合終了(30点に近いチームが勝利)
※時間内にちょうど30点にしたチームはその時点で、試合終了

【投てきミス】(投てきミスをしたチームはミスをしたターンは 0 点)

- ・スキットルを1本も倒すことができない。
- ・モルックを落とす(投てきエリア内で手から放してしまう)
- ・投てきエリアラインを動かす、触る。(投てきエリアラインの踏み越えも含む)
- ・チーム内での投てき順の誤り
- ・チームによる投てき順の誤り

※以上の投てきミスを3回連続してしまうとそのチームは失格となる。

モルックは基本、屋外でプレイされます。
公式ルールは以下のとおりです。
屋外コートは最小幅 4×10m(投てきラインから)
スキットルは投てきラインから 3.5m(±0.1m)に配置
50 点ゲーム(50 点を超えた場合、25 点に戻る)
時間制限は特になし
【(一社)日本モルック協会公式ルールガイドブック参照】

